

地区研修委員会 RLI 小委員会活動計画

・RLI 小委員会構成

RLI 担当 RLI 日本支部第 2790 地区代表委員 関口徳雄（浦安）
小委員長 海寶勘一（千葉西） 副委員長 金子公久（成田コスモポリタン）
委 員 清田浩義（千葉） 委 員 藤原和子（柏東）

※RLI の活動趣旨説明

RLI 小委員会の呼称は Rotary Leadership Institute、邦訳ではロータリー・リーダーシップ研究会と標記されていますが、その英語名の頭文字を並べて RLI と呼称しています。ここ第 2790 地区において RLI が地区委員会に組み込まれた歴史はまだ浅く、青木ガバナ一年度では、確実な継続活動ができる環境が整った年度になってきました。2010 年当初に参加した地区内の先達たちは、全てに自費で東京や埼玉で開催していた RLI に参加していました。その時に得た昂ぶる感動を是非とも第 2790 地区内ロータリアンにも広めようと、草の根運動的な忍耐と努力の積み重ねが粛々とあって、今日の地区委員会活動に結びつけることができている。少人数対話による意見交流が参加した仲間の意識向上と自身の研鑽を深め、ロータリーの素晴らしさに惚れ直すことができ、新たな学びの意欲を鼓舞してくれました。あくまでも地道に寺子屋で勉学をするがごとく、自主的に参加する者同士がお互いを理解し切磋琢磨するなかで、ロータリー精神を身に付け成長させてくれます。その目的は各クラブ内で地道な運動として、会員各自がリーダーとしての自覚を強くしようと、学ぶ心を目覚めさせることにあります。クラブ活性の一助に向けて、自然発生的な草の根活動として発足したのが、この RLI です。歴史的には 1992 年アメリカニュージャージー州の元 RI 理事リンネット氏の発案で始められた多地区草の根連合組織ですが、瞬く間に世界中の地区に広まり、有益有効な活用ができることになりました。RLI は基本的な国際統一方式の 18 カリキュラムがあって、パートⅠ、Ⅱ、Ⅲと各パート 6 時限に参加するにつれて、スパイラル形式にスキルアップができ、様々な興味や情報が得られるようにプログラムが組まれています。その目標を「ロータリアンとしての成長とロータリー観の確率」とさせ、本年度からは各パートのテーマが明確にされました。パートⅠでは「私たちロータリアンが一人一人学ぶべき課題」であり、パートⅡでは「私たちのクラブが、より効果的に成長できる為の課題」であり、パートⅢでは、「より幅広く奥深いロータリーの世界を学ぶ為の、わたくしのロータリーの旅」と、パートに参加するに従ってセッションテーマが連携されています。各パートを通して三つの螺旋的展開が柱としてあります。一つ目が「リーダーシップ」二つ目が「奉仕」三つ目が「会員組織強化」ですが、セッションに参加する毎に各スパイラル内容が理解できます。参加者同士が真摯になって語りあう中から、いろいろな気付きやアイデアを感じとり、同じセッション仲間からは対話の大切さを学び取ることができます。何よりも新たな知恵をひき出せる心構えの豊かさと喜びを実感することができます。これまで開催してきた参加者からのアンケートからも、RLI に参加して得られた教訓や情報取得の貴重さを教えてもらっています。

参加し合った各クラブの方々と忌憚ない意見交流を通して、セッションテーマに基づき、様々な考え方を謙虚になって話し合うことができ、さらには人様の意見を通して自身の考え方を勉強することができたと、感動のアンケートが多く記録されています。お互いが胸襟を開いて、豊かな心をもって語りあうことの重要さが身にしみて理解されたからでしょう。クラブを超えてセッションテーマに沿って語り合える新鮮さは感動を呼び込み、お互いの意見交流を通して思わぬ知恵がでたり、ほかのクラブの方から感化をうけたり、楽しみながらロータリーの魅力を思う存分触れることができます。RLI 仲間との対話からロータリーの奥深さを知り、人を思いやり尊敬しあう価値を享受しながら、ロータリー精神や情報の勉強の場を構築することができ大変喜ばれています。この RLI は現在 RI 公式プログラムではありませんが、2002 年 2 月の RI 理事会で RI の推奨が満場決定され、今ではロータリーの地区によって管理される草の根プログラムとして、世界中の各地区で盛んに開催されています。地区を超えて参加することが可能ですし、パートごとに地区を変えて参加することも大きな魅力になっています。当然のこと基本的な参加修了証明も地区を超えて平等な扱いになります。こうした魅力満載の RLI は質の高いリーダーシップ養成の草の根運動として世界中に広がり、現在では世界中で 370 地区以上が取り入れ活動されておりますし、我が日本では 2008 年に始めて導入されましたが今では 17 地区が活動し年々広まっております。さて人には一つの口と二つの耳があることの基本的な意義を考えさせてくれます。即ち人の意見は二つの耳でよく整理して聴き分けることが肝心であり、自分の意見を発することは熟慮してひとつの口から責任をもって、心のこもった責任ある大切な言葉を発することが肝要であると思います。ロータリアンとして活動するためには、クラブ全体として、すべてのロータリアンが自主的に自覚を持った話し合いをして、真のロータリー精神を理解することが基本的な課題になっていると思います。更にはクラブの柔軟性と刷新性が大事であることを心得ることから、クラブ活性化に向けてのリーダーシップの重要さも認識できることでしょう。決してロータリー知識や情報を豊かにすることを目的とするのではなく、参加する人との心の交流を深めることから、信頼しあう仲間との豊かな人間性の構築が価値あることと認識し、尊敬しあえるロータリアン同士が学び充足できる研修会として、是非に皆様も活用されてみてください。2017 年 2 月 27 日（月）にあるパート I から毎月開催できるように準備を万端整えていきますので是非ご参加されてください。今日お集まりのクラブ担当者の皆様も勿論ですが、各クラブから一人でも多くの登録や問い合わせがあることをお待ちしております。

※人が集い尊重しながら耳を傾け問いかける話し合いからは、深い学びと充足が得られます。

2016-17 青木ガバナー年度 R L I 開催日程 登録会費制度

- ・パート I 2017 年 2 月 27 日（月） 10 時開講 千葉市民会館 3 階・4 階
- ・パート II 2017 年 3 月 27 日（月） 10 時開講 千葉市民会館 3 階・4 階
- ・パート III 2017 年 4 月 24 日（月） 10 時開講 千葉市民会館 3 階・4 階
- ・卒後コース 2017 年 5 月 22 日（月） 10 時開講 千葉市民会館 3 階
- ・ディスカッションリーダー養成講座 2017 年 6 月 19 日（月）14 時千葉市民会館 3 階

RLI 日本支部のホームページも併せてご覧下さい ウェブサイト <http://rljapan.com/>

お問い合わせ先は、地区 R L I 小委員会 海寶勘一（千葉西）090-3108-4357 kan@kskaihou.co.jp